

みんなでやるクラブ活動は、みんなでやるから楽しい！ みんなでやるから学びも深い！
世界一楽しい学校！目指して今年度から始めた新しいチャレンジ、それが全校クラブ！

■■焼きたてクッキーには、あったかいものがいっぱいつまっている！■■



今年度からの新しい取組のひとつが、「クラブ活動」です。全児童参加、全児童同じクラブ、全児童同じ体験を目指して、4つのクラブを4時間ずつ体験しています。すでにバドミントンクラブ、グラウンドゴルフクラブが終わり、3つめになりました。3つめは、2時間×2回のクッキングクラブです。その第1回目を11月21日（月）に実施しました。テーマはクッキーづくりです。みんなで楽しく形やデザインを考え、「私のクッキー」を作りました。楽しさと「自分らしさ」のいっぱい詰まったクッキーは、最高の味でした。ごちそうさまでした！

■■学校がますます快適になっていく！■■

夏から続く学校の改修・修繕工事。1階の台所、学校外周フェンス・有刺鉄線の改修・修繕が終了し、さらに快適な学校になりました。

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…（その137）

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 32

カラカス日本人学校創立当時の話（橋本貞夫先生の話）が続きます。
■パーシェ・フレスコ時代…（橋本貞夫）■ 学校正面に現在掲げられてある門標「カラカス日本人学校」は、自民党の福田赳夫副総理がカラカスを訪問されたとき、日本大使館でのレセプションの席で、副総理に門標のことをお願いしたところ、快諾してくださいました。私が直接お願いできたのは中学校の先輩（疎開先が群馬県高崎中学校）であったからです。
 備品の中に金屏風と雛人形一式があります。今はどうなっているでしょうか。（残念ながら、今はありません）これらはベネズエラ駐日ロドリゲス・ヒメネス大使夫人より、「娘が大きくなったので」と学校に寄贈してくださったものです。このよつな経緯から3月の学校行事にはひな祭りを行ってきました。
 その後、パーシェ・フレスコのオーナーが建物、土地を売却することになったので、学校はまた移転することになりました。（写真左：3代の校舎の入口に掲げられてきた門標 写真右：校長室に飾られてある福田赳夫氏の色紙。「良い友は一生の宝」副総理大臣 福田赳夫と書かれてあります。） つづく

